

「中井村震災記念誌」の再発刊を求める決議

大正12年9月1日、関東大震災が発生し、中井村（中井町）でも多くの被害がありました。数年前、中井村（中井町）の被害を詳細に記録した「中井村震災記念誌」が個人宅で見つかり、関東大震災からわずか2年の大正14年2月10日に中井村役場が発行したもので、自治体発行の関東大震災の記録としては最も発行時期が早く、発行に携わった先人の壮絶な努力と思いを感じます。

序章には「この教訓、この苦しみを後世に伝え、中井村の将来のために役立てたい」と記され、震災に関わる様々なデータや、各地域での被害状況、中井村民の暮らしぶりも詳しく記録され、大変貴重な震災資料でもあります。

関東大震災の恐ろしさと、甚大な被害、当時の人々の心情をも風化させぬよう、町はこれを大切な文化的財産として恒久保存する責務があります。

「中井村震災記念誌」を再発刊することは、巨大地震に対する減災・防災対策になり、子どもたちの学びにも役立つことから、町民にとっても大変有意義なことであると確信しています。

よって、関東大震災から100年の節目に町での再発刊を強く求めます。

令和4年9月9日

中井町長 杉山 祐一 殿

中井町議会